

## どうなる北陸本線

来春の北陸新幹線開業に伴い北陸本線はJRから切り離され第三セクター「あいの風とやま鉄道」が運営し、枝線である高山線・城端線・氷見線は引き続きJRの運営となります。また、東日本大震災で大きな役割を果たしたJR貨物も、現在の北陸本線である日本海ルート（JRと新潟県・富山県・石川県の各第三セクター鉄道）を通ります。私たちは、安全性と利便性確保の観点から、北陸新幹線開業

に伴い経営分離される並行在来線は、引き続きJRが運営すべきであることを主張してきましたが、残念ながらそうはなっていません。このようなことから「あいの風とやま鉄道」が持続的な経営安定と安全運行を維持し利用者の負担を極力抑えるためにも、現在、県や沿線自治体が進めている「上下一体方式」の運営形態を「上下分離方式」に変える必要性を訴えます。

■並行在来線の安全・利便性  
 考えて 来年3月の北陸新幹線開業後、JR西日本から経営分離される並行在来線（北陸線の県内区間）の安全性と利便性について考えてもらおうと、公共交通を守る県民ネットワーク（田尻繁、能町和雄両代表委員）が9日、JR高岡駅南口でピラ配りをした。10日は富山駅北口でも行う。

◆並行在来線の街宣活動  
 県平和運動センターは9日、JR高岡駅南口で並行在来線に関する街宣活動などを行い、山崎彰議長らが安全輸送の確保や利便性の向上、貨物輸送の確保、経営安定化対策などを訴えた。井加田まり県議らも加わった。スタッフ10人が通勤客らにピラを配った。10日にJR富山駅でも行われる。

同ネットワークと県平和運動センター（山崎彰議長）から約20人が参加。並行在来線を運営する第三セクター「あいの風とやま鉄道」の安全運行や運賃抑制が重要とし、インフラ整備などを行政が行う「上下分離方式」が必要と訴えた。

自衛隊が憲法に  
 合っていないなら、  
 憲法を変えないで  
 自衛隊を変えましょう！

（県内）  
 9月末10万目標  
 %現在約4万筆  
 内閣総理大臣 参議院議長 衆議院議長 参議院議長 戦争させない全国署名協力をお願いします  
 ●7月12(土) 柏崎原発反対集会  
 参加希望者 AM10:00 自治労会館へ  
 車で現地へ帰り19:00頃



解限改憲